ダスカロス
スティリアノス・アテシュリス博士の講義録より撰集

真理の言葉

WORDS OF TRUTH

撰者　パナヨッタ・セオトキ - アテシュリ
須々木　光誦　訳

エドコム

Words of Truth

Extracts from Lectures of
Dr. Stylianos Atteshlis (known as Daskalos)
selected by Panayiota Theotoki-Atteshli

Copy right© 2009 Panayiota Theotoki-Atteshli
All rights reserved

Japanese translation rights arranged
directly with Panayiota Theotoki-Atteshli

日本語版刊行にあたって

本書は世界の真理の探究者から待ち望まれた一冊であり、ダスカロスによる生の講義録群からアテシュリ女史により選出されたものの日本語訳です。以前より、ダスカロスの講義録は英語版やドイツ語版のCDやDVDとして販売されてきましたが、日本ではなかなか入手が困難でした。本書の巻末に示されているように、国内ではすでに四冊のダスカロス関連の書籍が出版されていますのが、本書は各章でそのテーマが完結する講義録としてさらに読み易く、理解し易い構成となっております。

撰者であるアテシュリ女史は、講義録としてダスカロスの表現方法や言い回しに極力近づけたと述べられていますが、日本語版の編集にあたっても、訳者にいくつかの英語版CDやDVDを参照して頂き、テーマ別の十九の講義録を日本語に翻訳してもらいました。それぞれの講義は時代や場所や言葉も異なり、長いものや短いものもあります。一つの講義を一つのテーマに置き換えることは困難なため、各章のテーマもその章で課題として使われているいくつかの用語で示されています。それらの用語に対応する用語集も日本語版巻末に加えました。ダスカロスの書籍を初めて手にする方でも、用

語集で意味を捉えてから本文をお読みになればさらに理解が深まると思います。

本書の第一章から読み進めれば、基本的な絶対存在である神の概念から入り、章を追うごとに講義が深まり、最後にはダスカロスの教えの全体が把握できるように構成されています。同時に、理論的な教えだけでなく、エクササイズの重要性やそれらを実践するポイントが示されており、さらにその考え方が行動として日常生活に反映されていき、生きた教えとなって行くように教示されています。また、これらの原点が言葉による講義であるために、従来の書籍に示されていない重要なポイントも多々含まれ、ダスカロス研究家の方にも更なる学びとなることでしょう。

一昨年、キプロスで出版された本書の日本語版を、今日本の真理の探究者の皆様にお届けできることは私たち編集スタッフの喜びとするところです。本書編集にあたり、ダスカロスの教えを休みなく精力的に世に提供されている撰者アテシュリ女史のご協力とご指導に内奥より感謝を捧げるものであります。

エドコム編集室

日本語版について

・本書では、絶対存在、神、キリストの代名詞として、ことの単純化のために男性名詞を使用しました。

・原書での大文字表記は国名、民族名、地名を除き太文字で表記しました。

・本文中の原注は（　）とし、訳者の補足説明は〔　〕に示しました。

・原書には用語集がありませんが、本書ではアテシュリ女史の承諾を得て巻末に用語集を加えました。パナヨッタ・セオトキ-アテシュリ著『光界への門』の用語集を参考と致しました。本書の用語集に挙げられている用語は、各章の初出に索引番号を付記しました。

・原書における聖書引用文について、本書では特に断りのない場合を除いて全て日本聖書協会『聖書・新共同訳』（二〇〇一年版）から引用しました。

撰者のことば

私はことあるごとに父の講義録を本として出版することを求められてきました。私の生徒も、もしそのような本があれば特殊な用語や教えの定義について、もっと分かるようになるだろうと話してくれました。そのために、私は父がストアで行った多くの講義録群から必要と思われるものを選び出しました。ある講義は一九七〇年代にギリシャ語で行われたもので、またあるものは一九九〇年代の英語によるものです。

出版される講義録として、私たちは父のスタイルと言い回しに極力近づけるように試みました。ある考えは講義の中で、必要があって何度も繰り返されることもありますが、おそらく読者は異なった観点から説明される考えを受け取ることにより、理解がより豊かになると思います。

読者は講義録に矛盾を感じ、また理屈にあわない言説を見つけるかもしれません。しかし、私はあえて著名なスイス人の精神医学者カール・グスタフ・ユングが遺した言葉、「矛盾は私たちの最も貴重でスピリチュアルな財産である。なぜなら、矛盾だけが人生の至福を理解するための近道であるから」を指摘したいと思います。全く疑いがないことや、全く矛盾がないことは、一面的な見方に過ぎず、そのために理解困難なことを表現するために相応しいとは言えないのです。

私は、この本の準備を手伝ってくれたルドルフ&エリアン・ストーチと、専門家としてレイアウトを担当してくれたドミニク・ストーチに心より感謝の意を称します。

最後に、父の講義録の一つから短い文章を引用したいと思います。そして、読者の皆様には、是非お一人おひとりの心の内にそのメモを残してほしいと思います。

「もちろん、私はそれを説明できませんよ。それはあなたが自ら行わなくてはならないのです。あなた自身の内から智恵を引き出さなくてはならないのです。先生、マスター、グル、アバターなど、あなたが何と読んでもかまいませんが、彼らはあなたに道を示すだけです。しかし、あなた自身が自ら歩まなくてはならないのですよ!」

パナヨッタ・セオトキーアテシュリ

目次

真理の言葉

日本語版刊行にあたって　3
撰者のことば　6
第1章　全なる智恵、意志の喜び、ライフ－ライト、大天使、天使、観察　12
愛、マインド、マインド・バイタリティー、エゴイズム
第2章　マインド、エーテル、集中、観察、瞑想、視覚化　35
第3章　真理、生命、愛　45
第4章　生命、欲望、感情、マインドの利用、エゴイズム、警戒力　60
ヒーリングと短いエクササイズ
第5章　愛、神聖なる愛　82
第6章　波動、生命の光、エーテル　90
第7章　思考、考えること、マインド、光、高次元での利用について　97
第8章　ヒーリング、エーテル・バイタリティー、サイキカル・ヒーリング　112
スピリチュアル・ヒーリング
第9章　生命、キネーシス、神は生命、私は誰か、マインド、体　127
パーソナリティー、エレメンタル、自己実現
第10章　光、物質界、サイキカル界、ノエティカル界、神、人間のイデア、体外離脱

第11章　父である神、霊－エゴ、魂－エゴ、内省、意志の力、光－生命、意識　166
第12章　生命、魂－エゴ、現在のパーソナリティー　187
第13章　信仰、合理性、エーテル、視覚化　197
第14章　サイキカル体、霊－魂としての自己、パーソナリティー、エゴイズム、視覚化　大天使　205
第15章　過去の神々、エレメンタル、全なる智恵、病、生命、感情、人間の形態　視覚化、瞑想、自己実現　230
第16章　生命、パーソナリティー、体、個別性、エレメンタル、自己分析、自己実現　261
第17章　肉体の死、永遠の原子、永遠のパーソナリティー、オンドピイシス　284
第18章　永遠の原子、現在のパーソナリティー、潜在意識　293
第19章　創造エーテル、刷り込みエーテル、感覚エーテル、運動エーテル　サイキカル体、ノエティカル体、体外離脱　300

七つの約束　309

用語集　310
訳者あとがき　342
関連書籍について　348

第1章

全なる智恵、意志の喜び、ライフ－ライト、大天使、天使、観察
愛、マインド、マインド・バイタリティー、エゴイズム

絶対無限の存在性[60]（私たちが**神**[23]として理解している）は、**それ自身の自己充足性**[45]の中にあると述べてきました。これは何も必要としないことを意味しています。**自己充足性**の的確な本質を理解することは不可能なことです。また、**絶対無限の存在性**の中には、**全なる智恵**（まだ、表されていない状態）、**全能性**と、**ご自身**を**ご自身**の中に表す**意志の喜び**[3]があります。この**絶対無限の存在性**、すなわち**絶対無限の真実**というものは、**ご自身**の**偏在性**の中にあります。場所や空間という感覚はなく、**絶対無限の存在性**がないところはどこにもないのです。

絶対無限の存在性が**ご自身**を**ご自身**の中に表すために、**ご自身**の中で**意志の喜び**を表すときに、存在の世界[64]が創造されます。では、宇宙は何によって創造されるのでしょうか？　**全なる智恵**の最初の現れは、**絶対無限の存在性**とそれと共に波動しているあらゆる**永遠の存在たち**からの**マインド**[84]の放射です。こうして私たちは、**絶対無限の存在**（**絶対無限の存在性**にある**意志の喜び**の現れなので、**絶対**

無限の存在となる）の**全なる智恵**が、その宇宙を創造する手段として**マインド**を理解することができます。数はどうなるのでしょうか？　それを知る方法はありません。私たちが人間として知り得ることは、たとえ神聖なる本質を陶冶（とうや）できたとしても、存在の世界のことに限られているのです。

絶対無限の存在性は、その**多重性**[69]の中にあります。その中には無数の**永遠の存在たち**がいます。〝賢者たち〟はそのことを何世紀にもわたり話してきています。**永遠の存在**とは何なのでしょうか？

永遠の存在とは、すべての領域において、過去にも、現在にも、そして未来にも存在するものです。だから私たちは、〝**永遠の存在**〟と言う言葉と、〝一時的な存在〟[4]という言葉を区別しています。これらの**永遠の存在たち**は、**神々**なのです。ここで明確にしなければならないことは、唯一の**神**であり、**父**が存在していることです。しかし、その**父なる神**の中に、その**神**と類似したたくさんの**神々**が存在し、その**全体性**、あるいは**多重性**を構成しているのです。

さて、私たちは、これらの**神々**が、**神**の**意志の喜び**と共に波動していることが理解できます。それは、顕現するためでしょうか？　全部ではありません。なぜ、あるものは共振し、他のものは共振しないのでしょうか？　おそらく、この理由は**神聖なる計画**[52]と呼ばれているものの中にあるのです。

ここまでで、私たちは**絶対無限の存在性**に**意志の喜び**があることを知り、それが**絶対無限の存在**として顕現され、現われてくることを理解できたと思います。それから、**絶対無限の存在**が**意志の喜び**を表し、**聖なる大天使たち**[66]が共振して、**マインド超素材**を発します。

私たちは、顕現させる**意志の喜び**を**光**と比較することができます。それは**光**です。**生命**も**光**です。

もし**光**、神聖なる**光**、そしてあらゆるものを顕現化する**光**がないとしたら、**生命**が現われることはありません。**生命**と**光**という2つの言葉は、同義語です。

さて、光について分かってきましたが、光にはまだ色がありません。実際、私たちは光自身や光の色を見ることはできません。しかし、光がプリズムを通ると、赤、紫、青、緑、黄色の光として分光され、初めて光を色として見ることができます。

神聖なる**光**とは、**絶対無限の存在**におけるこれら**永遠の存在たち**の本質なのです。光には色がないと言いましたが、しかしこれらの**永遠の存在たち**は彼ら自身の色を表すことになります。このことが、これら**永遠の存在たち**を**大天使の階級**に分類します。なぜそうなるのでしょうか？　どのようにして分類されるのでしょうか？　その答えは誰も知りません。彼ら自身も答えを知らないのです。彼らに「あなたはどうして**ミカエル**なのですか？　また、あなたはどうして**ラファエル**なのですか？」と尋ねたとき、彼らから返ってきた質問は「あなたはどうして私たちの間の違いを理解できるのですか？」というものでした。彼らは彼ら自身の間に、何も違いを見ることができないのです。しかし、私たちは人間の観点から、その違いを見ることができるのです。このように、**大天使**は自分たちを**大天使の階級**に分類しているのです。一つひとつの階級は、その役割を完全にやり遂げ、宇宙を創造するために互いにつながり協力し合っています。**ノエティック・ステート**[79]や**超ノエティック・ステート**[79]では、**ミカエル**と**ラファエル**を区別することができません。そこで彼らは全員同じで、類似した、色のない白なのです。彼らが次元を下りてくると、それぞれの色を得ることになります。

色と音の関係は、何でしょうか？　色は七つの基本的な色調（七つの波動周波数）に分類され、音は7音階（波動周波数）に分類されます。聖なる**大天使たち**は、彼ら自身の光を表現し、彼ら自身の音を創造します。これらの音を互いに調和させて、宇宙を創造していきます。**大天使たち**は、創造のための手を持っていないので、彼らの波動を使います。音と光の色は、**大天使たち**が創造をするための手段なのです。最初に彼らは自らがつくり出し、私たちも聞くことができる音から彼らの名前を知り、それから彼らは宇宙を創造するために音と光を利用します。

私たちは、人間が理解できる範囲で、**大天使たち**を分類してきました。従って、どのような説明も不十分であり、不完全と言わざるを得ません。私たちが彼らの中で生きることができるようになったとき、はじめてこれらの真実を知ることになります。そのために、あなたの意識とパーソナリティーをもっと高次のレベルまで上げていくと、いろいろの階級の**大天使たち**とコミュニケーションが取れるようになります。彼らは多くのことを教えてくれます。そして、彼らのように行動し始める人間に、進んで智恵を伝達してくれます。事実、私たちは彼らに類似しているのです。**大天使たち**は、人間の持つパーソナリティーの罪深さや意地悪さを見ることができません。彼らは人間の善性を把握します。すなわち、人間のパーソナリティーのどこかにある彼らと類似した部分、「**魂－霊**」を受け入れます。私の経験から言えることは、**大天使たち**は「**魂**」[47]ではありません。彼らは、私たちが「**魂**」と呼んでいるものを表現していません。彼らが表現しているものは、「**エゴ**」で、これは彼ら自身の本質を表している一種の個別性です。従って、彼らは「**大天使のエゴ**」を持っていると言えます。「**エゴ**」は、**絶対無限の存在**から切り離されていません。言い換えれば、彼らは私たちが〝**ワンネス**〟と呼んでい

る状態からまったく離れていないのです。

では、人間の「**エゴ**」と**大天使**の「**エゴ**」との違いは何でしょうか？　人間の「**エゴ**」は、「**魂**」となり、分離の世界[82]に入っていますが、**大天使**はそのようなステップを取ってはいません。ですから、人間は「**霊－魂－エゴ**」であり、一方**大天使**は「**魂**」の表現を持たず、単純に「**霊－エゴ**」なのです。いろいろの**大天使の階級**間の違いを説明することは困難です。その違いは隔たりと言うよりは、むしろ一種の質の違いであり、それはある**大天使の階級**に属するための適性のようなものでしょう。**大天使**は、一つの階級から他の階級に移ることができるのでしょうか？　彼らが希望する限り、それは可能ですが、彼らは彼らの本質的な階級に戻る性質を持っています。このことは、彼らが彼ら自身の中に、私たちが〝**一体化**[5]〟と呼んでいる状態を持っていることを意味しています。これは私たちにとって容易に理解し難いことですが、彼らは〝一体化〟の状態にあり、同時に彼ら自身の本質を持っていることになります。私も理解できませんが、それが事実であることを確信しています。私は**大天使たち**とコミュニケーションが取れますが、なぜそれを理解できないのでしょうか？　なぜなら、私も分離の世界に存在する「**魂**」であり、人間としての「**エゴ**」を持っているからです。

私たちの本質としての「**霊－エゴ**」と**大天使**の本質としての「**霊－エゴ**」は、〝観察力[25]〟であると言えます。この〝観察力〟が何を意味しているかを説明することは、かなり困難です。それは、完全な集中力であり、同時に完全に知ることを意味しますが、適切に表現できる言葉がありません。ですから、それを〝観察力〟と呼びましょう。すなわち、私たちの本質も彼らの本質も、私たちが〝観察

力〟と呼ぶ何かなのです。人間として私たちは、本質の中に〝観察力〟を持っています。しかし、私たちはそれを表現しなくてはなりません。そして、私たちの中に「**内なる真実**」の本質を陶冶できたときに初めて、それを表現できるのです。**大天使たち**は既にそれを知っています。彼らはその完全な〝観察力〟を使って、如何なる誤りもなく、**全なる智恵**を生み出し表現します。聖なる**大天使たち**は、彼らの仕事で如何なる誤りも起こしません。なぜなら、それが彼らの本質だからです。ここでもう一度、これらの生命の状態、特に**大天使**に関して表現するために、言葉は充分ではないことを述べておきます。

大天使たちは、私たちが「エレメンタル[21]」をつくり出すのと同じ方法で、「エレメンタル」を創り出します。しかし、**大天使**の「エレメンタル」は、完全で創造的で、誤りがありません。彼らの「エレメンタル」は、「**超知性**[75]」とも表現できますが、私たちが〝天使[66]〟とか〝自然霊〟と呼んでいるものです。

〝自然霊〟はかなり賢い存在です。私たちはこのことを、彼らが監督し、その中に存在している生命現象における示現の中に見て取ることができます。植物界から鉱物界まで、あらゆる生命現象、すなわち地上のあらゆる金属、岩石の中のあらゆるクリスタル（結晶体）などは、それらの中に監督をしている〝自然霊〟が存在しています。彼らが最も賢いという意味は、彼ら自身が賢明であり、すべてを統治する「**超知性**」の智恵を完全に顕在化することにかけて最も賢明であるからです。「**超知性**」とは、大天使の階級の一つなのでしょうか？　それはわかりませんが、可能性はあります。しかし、